学校番号	1201

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	美術２　（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■１年次の美術Ⅰで学んだ「鉛筆デッサン」「デザインの基礎」「アクリルガッシュの使い方」「紙立体、工作」を美術Ⅱでは復習、発展させ、美術を身近に感じる実習を実践する。
■自己の内面と向き合い、多様な表現方法で作品に昇華させていく。
■様々な作品に触れることで、将来につながる情操を育む。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
美術Ⅰで学習した美術の基礎を踏まえて、発展的な美術表現に必要な知識・技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
美術の幅広い活動を視野に入れ、感性や想像力を生かした表現を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
創作、芸術活動、文化についての理解を深め、それらに取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表している。	・　感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	・美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもつ。 ・美術の専門的な学習に主体的に取り組む態度を養う。 ・主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリジナル曼荼羅	【色彩】【鑑賞】 曼荼羅についての学習 →デザインとして模様を考える。	a:曼荼羅の構成や意味について関心を持ち、これらの学習に意欲を高めている。 b:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 c:日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 記録表
	教科書模写	【絵画】【鑑賞】 美術Ⅰ、Ⅱの教科書の中から好きな絵画作品を選び、自分が付け加えたい題材を描き足しながら模写をする。	a:教科書を参考に絵画作品を鑑賞し、画材や技法を理解して主題を生成する。 b:主題を効果的に表現するために表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:制作物に対して粘り強く良いものにしようと意識しながら制作を進めることができている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	ワークシート 記録表
2学期	くだもののイメージ	【デザイン】 画用紙にアクリル絵の具で着色する。 くだもののイメージに合うように明度・彩度・配色構成等を工夫し表現する。	a:ワークシートで色彩基礎を学び、完成させる。 b:くだもののイメージをもとにアイデアスケッチをし、色彩構成を完成させる。 c:制作物に対して粘り強く良いものにしようと意識しながら制作を進めることができている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	ワークシート 記録表
	お菓子のパッケージをつくろう	【立体】 市販のお菓子の箱を観察し、購買意欲や販売促進の視点からアイデアを構築する。	a:パッケージデザインについて学ぶワークシート b:アイデアスケッチをし、立方体、直方体の紙面にアクリル絵の具で彩色していく。 c:制作物に対して粘り強く良いものにしようと意識しながら制作を進めることができている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	ワークシート 記録表

3学期	手ぬぐいを作ろう	【工芸】 手ぬぐいの大きさを把握し消しゴム版との比率を理解したうえで、デザインを考えていく。 ・彫り 消しゴム版を制作する ・染め ステンシル用の絵の具で消しゴム版の模様を手ぬぐいに写し取る。	a:手ぬぐいの用途や歴史に関心をもつことができている。お互いの作品を評価しあうことができている。 b:手ぬぐいと版のサイズをうまく利用したデザインと、創造性に富んだデザインになっている。 c:制作物に対して粘り強く良いものにしようと意識しながら制作を進めることができている。	ワークシート 観察 作品	ワークシート 観察 作品	ワークシート 記録表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度